

# 内陸・群馬における塩をめぐる歴史について考える

私たちの暮らしに必要な不可欠な生活物資である「塩・鉄・酒」。これらを取り上げ、群馬県地域における実態を知り、その歴史的意義について理解を深める3回シリーズ「ぐんま塩鉄酒論」。

塩は、生活には欠かせない最重要物資の一つ。だが、内陸・群馬ではその獲得や流通はいまだ解明されているわけではない。本大会では塩に関わる各分野の専門家を招き、塩に関する知見を深める。

- ◆日時 令和8（2026）年6月6日（土）13:00～17:00（受付12:30～）
- ◆会場 群馬県立文書館 3階 研修室（群馬県前橋市文京町3丁目27-2）
- ◆主催 群馬県地域文化研究協議会 ◆共催 共愛学園前橋国際大学
- ◆後援 群馬県、群馬県教育委員会、（公財）群馬県埋蔵文化財調査事業団、群馬歴史民俗研究会、群馬歴史資料継承ネットワーク、（一財）群馬地域文化振興会
- ◆定員 先着70名（事前予約不要、非会員も参加可） ◆資料代 300円
- ◆内容・日程
  - 1 開会 開会挨拶・趣旨説明 (13:00～13:10)
  - 2 講演 (13:05～14:35)  
「世界の塩・日本の塩・群馬の塩～資源と製法の制約から読み解く塩事情～」  
たばこと塩の博物館 主任学芸員 高梨浩樹氏
  - 3 研究報告1 「温泉水を活用した塩づくりの取り組み」 (14:45～15:30)  
山梨県立大学国際政策学部 教授 増田貴史氏
  - 4 研究報告2 「シオと地名－明治の温泉案内から－」 (15:30～16:15)  
群馬地名研究会、事務局長 井野修二氏
  - 5 シンポジウム (16:20～16:50)  
「内陸・群馬における塩をめぐる歴史について考える」  
パネリスト 高梨浩樹氏・増田貴史氏・井野修二氏  
司会 深澤敦仁（当会研究委員会代表）
  - 6 閉会 (16:50～16:55)



## 交通機関

- JR両毛線 JR両毛線「前橋駅」下車、南口から徒歩25分
- 日本中央バス 北口④番 広瀬駒形線で「生涯学習センター前」下車、徒歩5分
- 群馬バス 北口④番 日赤病院前橋線で「生涯学習センター前」下車、徒歩8分
- マイバス JR前橋北口③番 マイバスのりば「東循環[左回り]」「文京三自治会館」下車、徒歩3分
- 高速道路 北関東自動車道「前橋南IC」から15分  
関越自動車道「高崎IC」「前橋IC」から20分
- 駐車場 約60台収容可能（当日は詰め込み駐車となります）

※案内図及び交通機関の情報は、群馬県立文書館HPより引用